強度劣化調査表

建物名称：*****

調査部位：EV機械室

調査箇所	B棟壁	C棟壁	D棟梁	備 考
1	38	41	50	
2	46	51	50	
3	38	42	50	
4	42	47	52	
5	39	50	48	
6	47	46	48	
7	47	47	49	
8	45	48	48	
9	47	49	52	
10	45	43	49	
11	52	44	51	
12	50	47	45	
13	45	48	48	
14	48	46	48	
15	49	53	49	
16	46	49	43	
17	44	45	47	
18	47	45	49	
19	46	46	50	
20	49	48	49	
R合計	910	935	975	
R÷20	45.5	46.8	48.8	
R	0	0	-3.6	
	0.63	0.63	0.63	
R0	45.5	47.4	45.8	
F	256.7	272.1	259	
F'	210	210	210	
F/F' %	122	129	123	
劣化度				

国際単位系 (S I) による数値の換算は 1 kgf = 9 . 8 N です。

- 2 躯体の評価（強度劣化）

建物名称：*****

劣化区分	B棟壁	C棟壁	D棟梁		最悪値	強度比
(劣化なし) 設計基準強度以上の強度があり現状で問題ない						130%
						120%
						110%
						100%
(中度劣化) 必要に応じ別途専門会社によるコア抜き一軸圧縮試験を行う						90%
						80%
						75%
(重度劣化) 別途構造診断専門家による診断解析が必要である						70%
						60%
	122%	129%	123%		122%	

・躯体強度劣化の評価

劣化なし

躯体強度測定値が、設計基準強度以上有り、測定精度にバラツキがあるもののほぼ、問題はないと思われます。